

なかはら 第10号 区民会議だより

発行 中原区民会議
編集 中原区民会議事務局
(中原区役所企画課)
所在地 中原区小杉町3-245
電話 F.A.M. 044-744-3149
メール 044-744-3340
65kikaku@city.kawasaki.jp

第2回 区民会議 開催しました

安全・安心の きずなづくりに向けて



10月13日(水)に第2回区民会議が開催されました。この日は、多くの人に傍聴に来て頂くことと夜間の開催となりました。

身近な防災



「災害時要援護者避難文書」について、委員からは「災害時一人も見逃さない運動」「避難所運営訓練」(ひとり暮らし等高齢者見守り事業)などの制度の名称について、委員からは「初めて聞いた」という意見が出ました。

「情報の発信」子育て世代への対策」など多方面に渡る課題が出されました(詳細意見は中面参照)。若い世代に備えたり、突然の出来事に対処するために、行政と地域組織、住民が連携を深めることの大切さに加え、自分の身は自分で守ることが大切という意見も出ました。

きずなづくり

会議の中で繰り返し出てきた言葉が「きずなづくり」「助け合いの精神」。昔はよく、向こう三軒両隣といった近所づきあいがあちこちで見受けられました。

1人ひとりが

各種制度を学び、区民会議として今後どのような検討をしていくか、事前に委員に行なったアンケートに基づいて議論を交わしました。

今回の議論は課題調査部会に引き継ぎ、踏み込んだ検討を進めていく事が確認されました。

部会からの報告

第1回 課題調査部会

部会での審議の様子をご報告します。

現在状況を把握すると共に、防災ネットワークエリアマップなどを手にしながら地域で行われている防災への取り組みについて理解を深めました。

情報が行き届いていない、訓練実施の様子はどうなのかなどについて、委員が積極的に発言し、委員自身も体験してみることから議論を始めることができました。 ※中面参照。

第2回 課題調査部会

11月30日に第2回課題調査部会が開催されました。

委員が地域の避難所運営訓練に参加した様子やイベントの結果から、地域の情報共有のツールとして町内会回覧板・掲示物の有効性が確認された。一方、「地域での連携の難しさ」を感じている人が多かったことを確認しました。

第3回 区民会議

開催します

第3回区民会議を開催します。課題調査部会での検討結果を踏まえ、区民会議として区民の「安全・安心のきずなづくり」について審議します。

自主防災組織とは?

第2回区民会議では、防災について話し合われました。会議の中では、広く知られていない単語や制度がありました。今回は、そのような単語や制度を簡単にご案内します。

【自主防災組織】

自主防災組織は、町内会や自治会単位などで組織され、大規模な災害が発生したときに地域住民が的確に行動し被害を最小限に止めるための活動を行っています。自主防災組織は、災害時に効果的な活動ができるよう、訓練、備蓄などの必要な災害への備えを行っています。



【川崎市の防災情報】

- ★メールニュースかわさき
- ★かわさきFM (コミュニティFMラジオ)
- ★川崎市ホームページ (防災情報ポータルサイト) <http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/>
- ★防災行政無線
- ★防災子レホンサービス

詳しくは、川崎市総務局危機管理室
電話: 200-2956 F.A.X: 200-3972
メール: 16kiki@city.kawasaki.jp



低い、避難所などの情報を知りたいなどの傾向が見られ、今後の検討課題として挙げられました。

区民会議への意見募集

区民会議では、住民の話し合いにより解決することのできる地域課題や区民会議に関しての意見などご意見を区民会議の議論の参考とさせていただきます。

住所、氏名、電話番号を記入のうえ郵便、FAX、メールで区役所企画課(送付先は1面発行元を参照)までお寄せください。

また、区民会議に関する情報は、区のホームページでもご覧いただけます。

また、若い世代では、日頃の備えに対する意識がなまらぬ傾向が見られ、今後の検討課題として挙げられました。

また、若い世代では、日頃の備えに対する意識がなまらぬ傾向が見られ、今後の検討課題として挙げられました。

第2回区民会議での委員からの意見・提案

＜防災訓練の実施からコミュニティ形成＞

- 地域で実施する防災訓練への参加者は多い、訓練をすることでコミュニティが生まれるのではないかと。
- 既存の組織、イベントを活用し、コミュニティ形成の活性化を図れるのではないかと。
- 区民会議が声をかけをして、既存組織と連携させ、防災訓練の実施ができないか。
- 中学校区や全区一斉の防災訓練ができないか。

＜コミュニティ形成・人間関係構築＞

- 自分の命は自分で守る、自分たちの街は自分たちで守る。向こう三軒両隣の人間関係が大切である。
- 災害時の声かけなど、互助の精神が大切。
- 地域の危険箇所の地図を作るなど、簡単なこと・出来ることから始めることでコミュニティは作られる。

＜既存組織・制度の連携＞

- 民生委員では、「災害時一人も見逃さない運動」で、高齢者・ひとり暮らし老人などは把握できているが、障害者に関してはできていない。抜けにしている情報を補い、マップを完成させ地域の自主防災組織と連携して訓練を実施したい。
- 自助努力でどこまでできるか考える必要がある。向こう三軒両隣、町内会・民生委員などがどのように連携できるのか。さらに、行政がどのように連携できるのか検討が必要。

＜情報発信＞

- 会議で紹介された防災に関する制度を知らなかった。また、災害時には若い力が必要である。若者が集まるイベントで制度について情報発信したらどうか。
- 人が多く集まる場所に、防災の備えなどの掲示物や自分の避難所の地図などを貼りだしては。また、「こんにちは赤ちゃん事業」の訪問の際に地域の避難所がどこかをお知らせしてはどうか。

＜子育て世代への対策＞

- 子育て世代への防災意識の啓発が必要である。
- 乳幼児を抱えた家庭向けの防災ハンドブックを作成し、子育て世代に必要な情報提供や意識づけを行っていく

＜その他＞

- 問題点が多岐にわたっている。アイデアを絞ってまとめていく必要がある。
- 区民会議は審議機関ではあるが、区民会議として何ができるかを考える必要がある。
- 武蔵小杉駅周辺再開発地区では、独自のワーキンググループが立ち上がり、消防署や警察署と連携して防災の勉強会を実施している。

課題調査部会での検討

- 「自分の身は自分で守る。」備えを行っている人がどれ位いるのか把握した上で、区民会議としての対応を考える必要がある。
- 町内会・自治会、自主防災組織などから、回覧板・掲示板を通じて防災訓練参加の呼びかけをしているが、徹底されていない部分もある。参加の呼びかけ方法など区民会議で考えてもよいのではないかと。
- 「防災訓練にはどれ位の参加者がいるのか」とどのように実施されているのかなど実態を把握する必要がある。

★避難所運営訓練に参加して実態を把握しよう
★イベントでアンケート調査を行おう

避難所運営訓練に参加しました

- ★11月14日(日) @上丸子小学校
- ★11月28日(日) @中原中学校

課題調査部会での審議により、地域で行われている「訓練」に参加して、訓練の様子を感じるとともに、訓練参加者へ「実施における課題・問題点」を聞き取るアンケートを実施しました。

「協力いただいた、みなさまありがとうございました。アンケートの結果は、区民会議などで報告させていただきます。」

子ども未来フェスタに参加しました

- ★11月27日(土) @中原区役所

子育て世代の防災意識調査をするためイベント参加者へアンケートを実施しました。

身近な防災に関する制度 (区民会議資料より抜粋)

名称	災害時要援護者避難支援制度	災害時一人も見逃さない運動	避難所運営会議	ひとり暮らし等高齢者見守り事業	
制度概要	災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の方から登録の申請をしていただき、地域の支援組織に名簿情報を提供し、地域において共助による避難支援体制づくりを行う。	災害時一人も見逃さない運動。民生委員児童委員の自らの活動を軸として、ひとり暮らし高齢者や高齢者だけの世帯、乳幼児がいる世帯など、要援護者の情報を持っています。この情報を災害時に役立てようとする運動。	避難所(学校)ごとに地域住民と行政機関が一体となって避難所運営を行うことが必要であるため、地域の自主防災組織を中心として、施設管理者、ボランティアなどによる避難所運営会議を構成し、避難所の管理運営を行う。	ひとり暮らし等高齢者見守り事業。地域の実情に通じている民生委員の協力のもと、担当地区のひとり暮らし高齢者世帯の世帯状況など高齢者を把握し、ひとり暮らし高齢者などの話し合いの機会を増やし、安否の確認に役立て、見守りネットワークづくりに活用する。	
制度所管	総務局危機管理室 健康福祉局地域福祉課 共管	全国民生委員児童委員連合会	中原区役所地域振興課	健康福祉局高齢者在宅サービス課	

【お問い合わせ】中原区役所企画課
電話: 044(744)3149 F.A.X: 044(744)3340

なかはら 第11号 区民会議だより

今、私たちに出来ること

第3回区民会議開催しました。

「安全・安心のきずなづくりに向けて」をテーマに、第3回区民会議を開催しました。各部会の検討結果を報告し、全員で更に議論を深めました。



1月19日に第3回区民会議を開催しました。2回会議での議論を受け、課題調査部会や運営部会で話し合われた内容について、各部会長から報告がありました。部会での検討結果を踏まえ、区民会議委員として、地域の代表とすべく、「安全・安心のきずなづくり」に向けて何事出来るのか、区民

区民を代表して
1月19日に第3回区民会議を開催しました。2回会議での議論を受け、課題調査部会や運営部会で話し合われた内容について、各部会長から報告がありました。部会での検討結果を踏まえ、区民会議委員として、地域の代表とすべく、「安全・安心のきずなづくり」に向けて何事出来るのか、区民



地域の防災意識
課題調査部会からは、上丸小学校・中原中学校「避難所運営訓練」一なはら子ども未来フェスタで、それぞれ参加者を対象に行ったアンケートの結果(中野参照)の報告がありました。地域における防災意識は、若い世代ほど高い傾向にあり、いかに若い世代に防災意識を持ってもらうかが、今後の課題として挙げられました。また、情報伝達については、町内会・自治会の回覧板が有効な手段である一方、インターネットを通じて情報を得る人が、若い世代ほど多く、紙媒体の両方を活用していく事的重要性が確認

様々な角度から
これら区民会議内容を踏まえ、区民会議では、「ぼうさい出前講座」などを行い、防災意識を高めることが重要である。さらに、避難所運営訓練を通じて、地域コミュニティの核となる学校(児童・生徒)との交流を促進し、災害時に備えることも必要であるとの認識を深めました。また、区ホームページが発行する各種冊子類など、様々な角度から積極的に防災情報を発信し、より多様化する生活用様式に対応する防災意識の啓発が必要であるとの意見がありました。

ぼうさい出前講座とは?

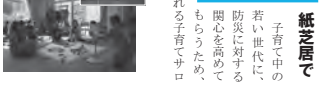
「ぼうさい出前講座」は、市の防災対策や個人や家庭で出来る防災対策の説明を盛り、防災意識の高揚と防災力向上を目的としています。講座の内容は、基本的に一般的な知識についての説明です。

- 地震はなぜ起きるのか
 - 過去の教訓から学ぶ
 - 大地震! その時どうする?!
 - 日ごろからの備えが命を守る
 - 正しい情報の収集
 - 避難についておこころ
 - 台風や集中豪雨の基礎知識
- などのメニューから選んで受けることが出来ます。(複数選択も可能です)講師は、市の職員または「防災インストラクター」です。

【利用方法】市ホームページの区役所地域振興課で配布の「川崎市ぼうさい出前講座受講申込書」に必要事項を記入し、FAXまたは郵送で危機管理室まで提出してください。

⇒詳しくは、川崎市危機管理室
電話: 200-2975 FAX: 200-3972
メール: 16kiki@city.kawasaki.jp

こんなこともやってみました



紙芝居で子育て中の若い世代に、防災に対する関心を高めるため、地域で行われる子育てサロンで、この日、子育てサロンと併せて集まった10組を超える親子が楽しんだ防災に関する紙芝居を行いました。中原区商店街連合会では、会議の開催に合わせて、ぼうさい出前講座を行いました。会議に参加した各商店街の代表者は、災害時どのような対応をすればよいのかなど、真剣に講師の話に聞き入っていました。

子育てを応援
第4回区民会議を3月18日(金)午後5時から区役所で開催します。次回テーマは「地域の子育て応援体制づくり」について、地域子育て支援していく中で、区民会議として何が出来るかを検討していきます。また、大規模再開発などにより転入者が多く、新住民のコミュニティ形成も課題として取り上げています。子育て中の保護者が地域全体で子育てを進めるため、支援していくために、地域で活動する事例や行政の制度などを学びながら議論を進める予定です。区民会議の様子などは、区民会議のホームページでもご覧いただけます。当日直接お話しください。当日参加費50名を募集しております。意見も募集しております。意見も募集しております。意見も募集しております。



区民会議では、住民の声を聞き取り、より身近な地域課題や区民会議に関するご意見なども随時募集しています。皆様からいただいたご意見は区民会議での議論の参考とさせていただきます。住所、氏名、電話番号を記入のうえ郵便、FAX、メールで区役所企画課(送付先は1面発行元を参照)までお寄せください。また、区民会議に関する情報は、区のホームページでもご覧いただけます。

区民会議への意見募集

区民会議では、住民の声を聞き取り、より身近な地域課題や区民会議に関するご意見なども随時募集しています。皆様からいただいたご意見は区民会議での議論の参考とさせていただきます。住所、氏名、電話番号を記入のうえ郵便、FAX、メールで区役所企画課(送付先は1面発行元を参照)までお寄せください。また、区民会議に関する情報は、区のホームページでもご覧いただけます。

「安全・安心のきずなづくりに向けて」取り組み事項

地域・区民・区民会議の取り組み

取り組み内容(分野)	具体的な実施方法(解決策)	実施主体(協力依頼団体)
区民の防災意識の向上	区民会議委員出身団体等「ぼうさい出前講座」を開催することで、より多くの方へ防災意識を持ってもらうようにする	区民会議委員出身団体
子育て世代における防災意識の向上	地域の方が運営する子育てサロンなどで幼児児童子育て世代向けの「ぼうさい出前講座」を開催し、若い世代への防災意識の向上を図る	各地区子育て支援推進委員会 各地区民生委員児童委員協議会

区民と行政の協働の取り組み

取り組み内容(分野)	具体的な実施方法(解決策)	実施主体(協力依頼団体)
既存組織の連携強化	避難所運営委員会の連携を図るため、自主防災組織・学校・PTAを構成とした「防災ネットワーク連絡会」を毎年、定期的に開催することで連携を強化する	自主防災組織 学校・PTA 中原区役所
防災訓練未実施地区での訓練実施	地域の自主防災組織に訓練の必要性を一層認識してもらい、訓練未実施地区に対して、小中学校を拠点とした訓練を計画的に実施する準備を行っていく	自主防災組織 学校・PTA 中原区役所
区民の防災意識の向上	区民の防災意識の向上を図るため、防災に関する講演会(フォーラム)などを開催する	自主防災組織 中原区役所 区民会議

行政の取り組み

取り組み内容(分野)	具体的な実施方法(解決策)	実施主体(協力依頼団体)
若い世代に向けた防災情報の発信	インターネットを活用して地域で実施される防災訓練などの情報を提供することで、若い世代の訓練参加を促していく 出生の届出や転入手続きの際に配布している「中原区子育て情報ガイドブック」へ防災情報を掲載することで、若い世代の防災意識の向上につなげていく 「防災ネットワークエリアマップ(8地区)」を各区内の子ども文化センターや保育園などに新たに配布し、掲示することで、市民の方に防災情報を提供していく	中原区役所 中原区役所 中原区役所

上丸小学校・中原中学校 避難所運営訓練

なかはら子ども未来フェスタでアンケートを行いました

11/28 中原中学校 避難所運営訓練

中学生も参加して行いました。
●20歳未満の参加が33%ありました
●初めて参加した人、定期的に参加している人が同じく約40%でした

日ごろの備えは?
●水・食糧の確保 (39%)
●家具等の固定 (21%)
●家族などの連絡方法の取り決め (25%)

何か得たものは?
●地域の人と日ごろから話し合い、連携・協力することの重要性
●今回の経験を活かし、災害時に役立てたい

11/27 なかはら子ども未来フェスタ

●30代の参加が58%、40代が21%でした
●防災訓練に参加したことのない人が55%でした
●地域の防災情報はインターネットで入手 (26%)、回覧板 (35%)とほぼ同じくらいでした
●防災マップや災害危険予測図について
→持っている (24%)、見たことはある (47%)、見たこともない (29%)



な かな 第12号 区民会議だよ!

備える



東日本大震災におきまして、被害にあわれた皆様
に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になら
れた方々へ遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し
上げます。
奇しくも今年度最初のテーマとして審議した「安
全・安心のきずなづくり」に向けて、『今、自分ら
が出来ること』を、区民会議委員一同実践して参
りたいと思います。
また、今回私たちが議論した内容を今一度振り返
り、「いざ」という時のために役立てることができ
ればと考えております。今号は、予定を変更し、今
年度の審議の振り返りをお伝えいたします。
第7期中原区民会議委員同

東日本大震災におきまして、被害にあわれた皆様
に心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲になら
れた方々へ遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し
上げます。
奇しくも今年度最初のテーマとして審議した「安
全・安心のきずなづくり」に向けて、『今、自分ら
が出来ること』を、区民会議委員一同実践して参
りたいと思います。
また、今回私たちが議論した内容を今一度振り返
り、「いざ」という時のために役立てることができ
ればと考えております。今号は、予定を変更し、今
年度の審議の振り返りをお伝えいたします。
第7期中原区民会議委員同

現状を把握する
所運営について、視察を行
いました。
地域の協力
区民会議の中では、自助、
公助、助助について意見が
ありました。災害主体となつた支援
や災害対策に、自分
の力を加えて、自分
の力で守る事の重要
性について意識を高めること
が必要であるとの事です。
「向う三軒両隣」と言
われるように、日頃から
地域での人間関係を深め、
一刻を争う消火・救助・応
急手当は、出来る人たちが
出来る範囲で行う必要がある
との事でも、地域の
自主防災組織の活動に参加
し、また、防災訓練などへ
の参加を通じて、地域が丸
ひとつとなつて備えることが重要
との認識が図られました。

ぼうさい出前講座とは?

「ぼうさい出前講座」は、市の防災対策や個人や家庭で出来る防災対策の説明を、防災意識の高揚と防災力向上を目的としています。
講座の内容は、基本的に一般的な知識についての説明です。

- 地震はなぜ起きるのか
- 過去の教訓から学ぶ
- 大地震! その時どうする?
- 日ごとどんな備えをしておけばよいのか
- みんなの防災力あがらせる
- 正しい情報の収集
- 避難について知っておこう
- 台風や集中豪雨の基礎知識
- などのメニューから選んで受けることが出来ます。(複数選択も可能です)

講師は、市の職員または「防災インストラクター」です。
【利用方法】
市ホームページから区役所地域振興課で配布の「川崎市ぼうさい出前講座申込書」に必要事項を記入し、FAXまたは郵送で危機管理室まで提出してください。
詳しくは、川崎市総務局危機管理室
電話：200-2795 FAX：200-3972
メール：6kiki@city.kawasaki.jp

市民と協働で

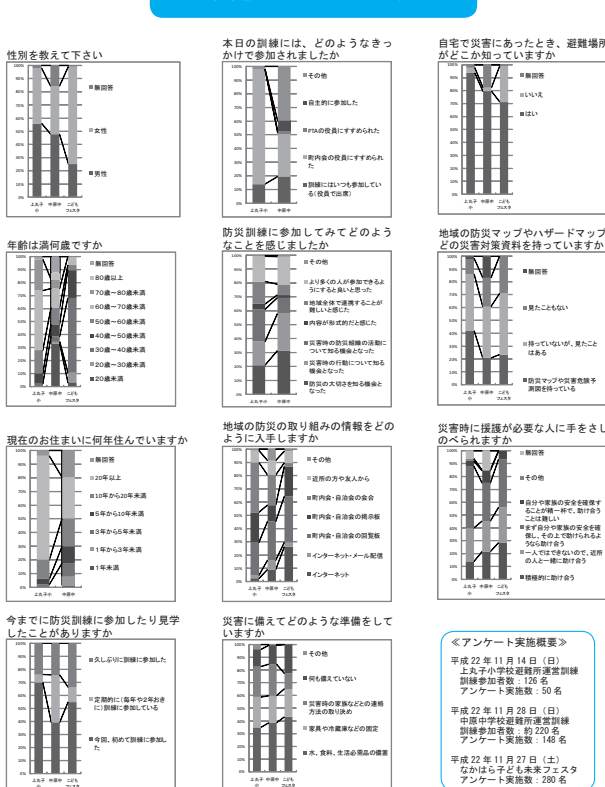
区民会議での審議を踏まえ、中原区市民提案型事業「区内で防災をどう進めるか」について、若い世代に防災に対する意識を伝えるため、「防災意識向上事業」を実施する予定です。
3月24日の審査会で決定した事業は、「防災紙芝居事業」区内で活動を行うNPO法人カワサキユニバースが、音楽をきかかえて、区内で行われるイベント会場において、来場者を対象にした防災への備えなどを伝える紙芝居を実施し、広く区民の防災意識の向上を狙います。具体的なスケジュールなどは、決まり次第市政決定する予定です。

子育てを応援
平成23年度第1回区民会議を4月19日(火)午後3時から区役所で開催します。今回のテーマは「地域における子育て支援体制づくり」について、地域で子育てを支援していく中で、区民会議として何が出来るかを検討します。中原区は、七区の中でも子どもの数が多い区です。区民会議の機軸は、子育てを応援することです。日直接接したい。当日午前50名募集。区民会議に対する意見も募集しております。見込み参照

区民会議では、住民の話し合いにより解決することのできる地域課題や区民会議にしたい意見を随時募集しています。皆様からいただいた意見は区民会議での議論の参考とさせていただきます。住所、氏名、電話番号を記入のうえ郵便、FAX、メールで区役所企画課(送付先は1面発行元を参照)までお寄せください。また、区民会議に関する情報は、区のホームページでもご覧いただけます。

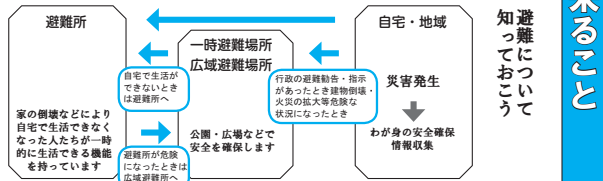
区民会議への意見募集
この他、23年度市民提案型事業では、「外国人と防災」の2事業が選定されました。

防災意識アンケート集計



自分で出来ること

各家庭で最低3日分の食料を確保しましょう
災害が発生する、普段通りの生活が出来なくなるおそれがあります。自分や家族にとって必要なものを準備しておきましょう。
【例】
□飲料水(1人1日3日)
□保存食品(お米・パスタのごはん、乾麺、カップラーメン、缶詰など)
□乳幼児の粉ミルク、離乳食、おやつ
□非常持ち出し品を
確認しよう
季節や家庭の状況、家族構成などを考え、必要に応じてお持ちし、保管しておきましょう。
【例】
□ラジオ □懐中電灯
□電池 □下着類、靴下、手袋
□簡易トイレ □ティッシュ
□生理用品 □雨具・防災具
□ウェットティッシュ
□医薬品(薬・消毒液・包帯・はさみ)
□貴重品(現金・預金通帳・健康保険証)



避難について
避難所：安全を確保するために一時的に避難する場所。近くの公園、空き地など。広域避難所：火災など大きな被害が予想されるときに避難する場所。大きな公園、緑地など。避難所：市立小学校、市立高等学校、市立中学校(地域防災拠点)など。

